観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年１１月２８日

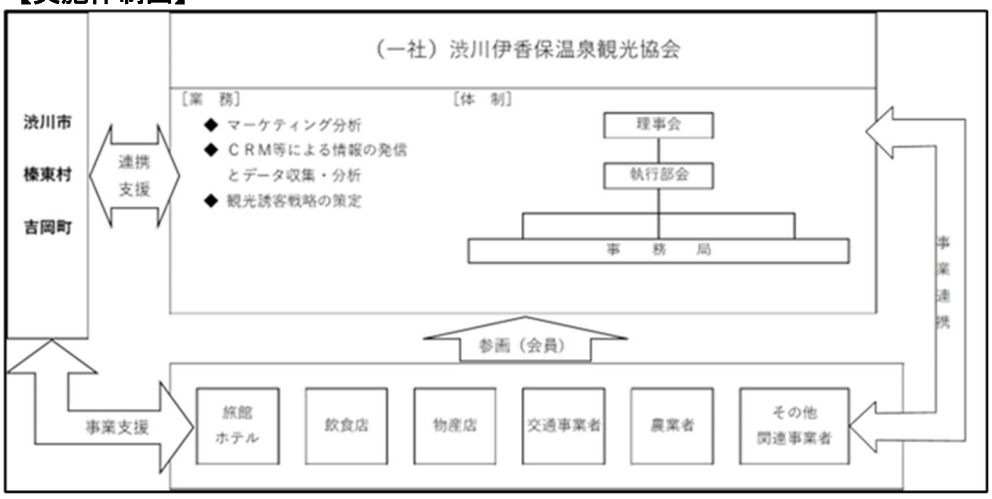
１．観光地域づくり法人の組織

申請区分	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）渋川伊香保温泉観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	群馬県渋川市・榛東村・吉岡町	
所在地	群馬県渋川市	
設立時期	昭和 30 年 2 月 4 日	
事業年度	4 月 1 日～翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	10 人【常勤 10 人（正職員 6・嘱託員 4 人)】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	（氏名） 関口 征治 （一社）渋川伊香保温泉観光協会 (有)玉樹 代表取締役	伊香保温泉旅館「玉樹」社長。 令和 2 年 10 月に（一社）渋川伊香保温泉観光協会の会長に就任以来、優れたリーダーシップと幅広いネットワークによって地域内外のパイプ役を担うとともに、指導的役割を担っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ）	（氏名） 伊藤　信明　「専従」 （一社）渋川伊香保温泉観光協会　常務理事	当協会の常務理事。 30 年以上の観光業界での知見を含め、幅広い人脈と観光地域マーケティングにおける高い能力を備えている。また、組織運営及び観光地運営における財源確保、計画立案、執行管理の中心を担う。
財務責任者（ＣＦＯ）	（氏名） 伊藤　信明　「専従」 （一社）渋川伊香保温泉観光協会　常務理事	当協会の常務理事。 30 年以上の観光業界での知見を含め、幅広い人脈と観光地域マーケティングにおける高い能力を備えている。また、組織運営及び観光地運営における財源確保、計画立案、執行管理の中心を担う。
イベント・プロモーション責任者（専門人材）	（氏名） 山本　慶太　「専従」 （一社）渋川伊香保温泉観光協会　主任	当協会主任 県内の観光協会で従事した経験からイベント及びプロモーションの企画立案に長けており、ＳＮＳ活用によるプロモーション経験とスキルを持つ。また、国内旅行業務取扱管理者の資格を有し旅行業務知識も兼ね備えている。
観光コンテンツ開発責任者（専門人材）	（氏名） 廣川　健也　「専従」 （一社）渋川伊香保温泉観光協会　係長	当協会係長。 民間企業の営業職に従事した経験から、観光関係者のほか異業種にも幅広い人脈と信頼関係を有している。また、観光施設運営の担当者でもあり、顧客目線での観光コンテンツ開発の中心を担っている。

様式１

<table>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td>群馬県産業経済部戦略セールス局観光リトリート推進課（観光全般）
群馬県北群馬渋川振興局（地域連携）
渋川市産業観光部観光課（域内観光全般）
渋川市情報防災部ＤＸ推進課（観光ＤＸ、国際交流）
渋川市建設交通部交通政策課（地域交通）
榛東村産業振興課（地域連携、周遊観光）
吉岡町産業観光課（地域連携・周遊観光）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td>伊香保温泉旅館協同組合（宿泊施設連携）
伊香保温泉観光振興協議会（域内連携）
しぶかわ商工会（域内連携）
渋川地区物産振興協会（域内連携、物産品ＰＲ連携）
渋川広域農業活性化推進協議会（地元農産物の活用・観光農園との連携）
（公財）群馬県観光物産国際協会（県域ＤＭＯ）（県域観光マーケティング、県域誘客事業）
（株）ＪＴＢ（旅行商品開発）、
ＪＲ東日本（株）（交通連携）
関越交通（株）（二次交通）、
群馬銀行等（金融連携）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td>【該当する登録要件】②
（概要）
・当協会の会員は、観光施設事業者、宿泊施設自称者、交通事業者、物産事業者、商工関係事業者のほか各種組合、一般企業が参画しており、定期の総会を実施している。
・観光関係事業者のみならず、行政、関係団体等が参画する渋川北群馬ＤＭＯ協議会を設定している。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>受入体制を整えるため旅館組合、商工会、観光ボランティアガイドの会等と連携し、域内の各自治会、地域住民等を含めた意識啓発を行う。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
令和４年度～令和６年度の主な事業
<table><tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr><tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・アニメ活用による誘客プロモーション
・ＳＮＳ活用による情報発信及びフォトコンテスト
・海外ＫＯＬ招聘による情報発信
・大都市圏（首都圏、関西圏）での観光イベント参加
・台湾（台北）での観光キャラバン</td></tr><tr><td>受入環境の整備</td><td>・手荷物配送サービス（手ぶら観光）実施
・レンタサイクル
・観光ＤＸに向けた検討
・羽田空港高速バス運行支援
・高崎駅直通バス運行協力</td></tr><tr><td>観光資源の磨き上げ</td><td>・伊香保温泉河鹿橋ライトアップ（新緑、紅葉）
・伊香保温泉石段街灯り演出
・伊香保温泉芸妓文化促進イベント
・周遊観光促進イベント（Artist in Residence）
・伊香保ハワイアンフェスティバル
・伊香保まつり
・既存観光地、観光産業の再生高付加価値化事業支援</td></tr></table></td></tr>
</table>

様式１

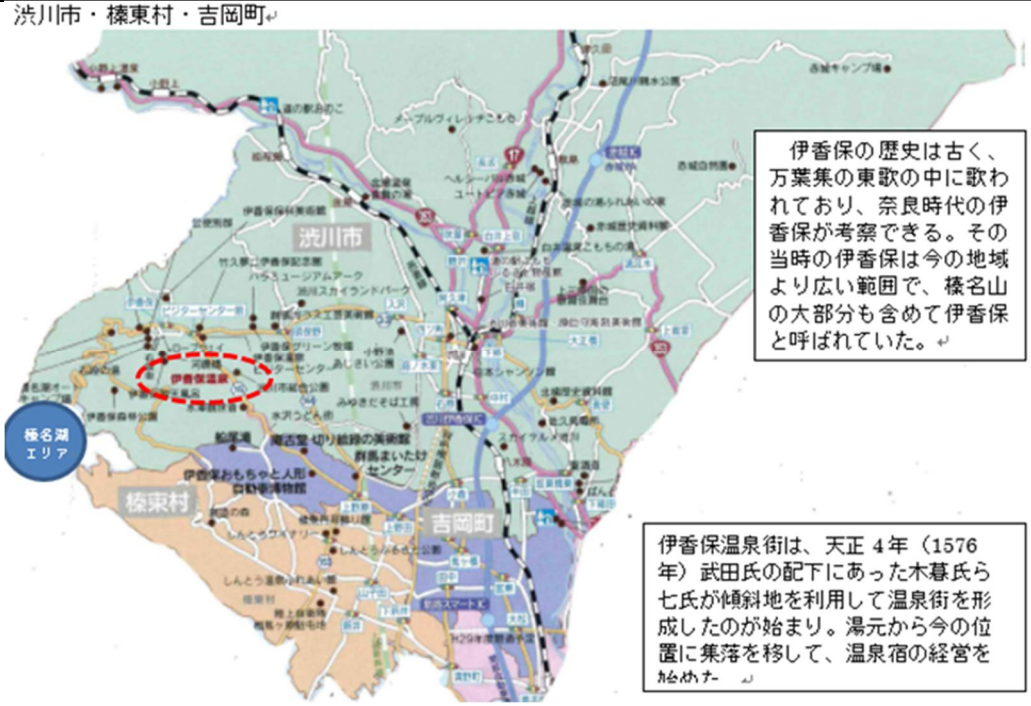
	【定量的な評価】 伊香保温泉観光協会として設立以来、行政と一体となり温泉地の観光誘客に努めてきた。平成 18 年に伊香保町をはじめとする 5 町村が渋川市と合併したことに伴い、組織を（一社）渋川伊香保温泉観光協会とし、伊香保温泉を核とする周辺観光資源を活用した広域観光振興に取り組んでいる。 また、観光客の利便性向上のため、ハード、ソフト両面において時流に即した環境整備、情報発信等に関係各所と連携し積極的に取り組んでいる。
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** （一社）渋川伊香保温泉観光協会が母体となり、行政・宿泊・飲食業者、交通事業者など多岐にわたる関係者と密接に連携し実施する。 **【実施体制図】** 

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

様式１

渋川市・榛東村・吉岡町



【区域設定の考え方】

従来から当該区域の自治体及び関係諸団体で連携し、観光誘客に向けたＰＲを実施しており、これを更に強化するため、平成 30 年に渋川北群馬ＤＭＯ協議会を設置し伊香保温泉を核とした地域を面として捉え、観光誘客に取り組んでいる。

【観光客の実態等】

・伊香保温泉の宿泊者数

項目	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
宿泊者数（万人）	67	54	81	89	97
内外国人数（千人）	1.7	0.01	1.3	12	14

・観光入込客数（※「群馬県観光入込客統計調査」）

項目	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
渋川市（万人）	271.6	242.1	303.1	345.1	354.9
榛東村（万人）	10.0	11.1	13.3	14.7	15.9
吉岡町（万人）	36.2	36.6	39.2	57.9	46.6

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

1）観光施設	・伊香保温泉（旅館 40 軒、温泉関連施設）、日本３名段（伊香保温泉石段街） ・美術館、博物館 ・遊園地、観光牧場、ゴルフ場 ・観光果樹園（いちご、ぶどう、りんご） ・体験型施設（工芸品作り等）
2）商業施設	・観光土産物産店　・農産物直売所　・大型量販店
3）自然	・伊香保温泉（紅葉、新緑） ・森林公園 （上ノ山公園、伊香保森林公園：つつじ、トレッキング、パノラマビュー）
4）文化	・伊香保神社、水沢観音、佛光山法水寺

	・東国文化遺産（古墳時代遺跡群：金井東遺跡） ・農村歌舞伎（渋川赤城上三原田地区） ・日本三大うどん（水沢うどん） ・近代こけし（国内生産量シェア 70%、現代の名工 3 名）
5）スポーツ	・伊香保スケートリンク（国体、各種競技大会等） ・渋川総合運動公園（野球場、体育館、陸上競技場等） ・榛東総合グランド（サッカー場、体育館当等） ・吉岡町緑地公園 （ケイマンゴルフ、パークゴルフ、グラントゴルフ、テニスコート）等
6）イベント	・伊香保ハワイアンフェスティバル ・伊香保まつり、山車祭り、渋川へそ祭り等の夏祭り、秋祭り等 ・桜祭り、あじさい祭り等

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

（宿泊施設）

・伊香保温泉：40 施設、客室数：約 1,700 室、収容力：約 6,300 人

・渋川市内、榛東村、吉岡町（渋川市内:13 施設、・榛東村：1 施設、・吉岡町：2 施設）

【利便性：区域までの交通、域内交通】

東京から約 120Ｋｍ圏内

（鉄道）最寄り駅／ＪＲ渋川駅、（高速道）最寄りＩＣ／関越自動車道渋川伊香保ＩＣ、駒寄ＩＣ

（自動車）

・東京（関越自動車道）―渋川伊香保ＩＣまたは駒寄ＩＣ（約 70 分）―伊香保温泉（約 20 分）

（鉄道）

・東京（新幹線）―ＪＲ高崎駅（約 60 分）―（上越線又は吾妻線）ＪＲ渋川駅（約 30 分）―（路線バス）―伊香保温泉（約 30 分）

〇高速バス

・東京駅、八王子駅、川越駅、熊谷駅から直通バス（関越交通）（群馬バス）（JR バス関東）

・羽田空港（東京駅経由）から直通バス（関越交通）

〇域内交通

・伊香保タウンバスを運行。温泉街から周辺の観光ポイントを結び伊香保の散策をサポート。

・ＪＲ高崎駅から直通バス（群馬バス）

【外国人観光客への対応】

〇情報発信、ＰＲ対応（認知度向上）

・観光協会ＨＰでの外国語対応（英、簡、繁、韓）

・外国語パンフ（英、繁）

・インバウンド向けＰＲ動画

・羽田エアポートガーデンでのパンフ配布

〇受入対応（受入環境整備）

・域内路線バスでのインバウンド向けエリアパス

・伊香保温泉石段街 Free　Wi-Fi 整備

・手荷物配送サービス（渋川駅から伊香保温泉宿泊施設）

・羽田空港からの直通高速バス運行（羽田空港-東京経由-伊香保温泉-四万温泉）

〇インバウンド需要獲得に向けて、群馬県、渋川市及び関係各所と連携し、海外ＡＧＴ、メディア、インフルエンサー等の招聘や海外プロモーション等々の取組みを検討し誘客に努めていく。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	渋川市による調査資料に基づく。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	宿泊施設への定期調査を実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	Google ビジネスプロフィールの評価値を用いる。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	渋川市が実施する住民意識調査による。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

全国的な人口減少社会において、群馬県渋川市では人口を還流させる社会基盤となる産業を観光と位置付けている。これまでの日帰り又は１泊型の短期滞在観光はもとより、滞在型観光、リピート層など、ターゲットの拡大が必要となっている。

また、当地域は、温泉や自然、歴史文化、アートなどの観光資源のほか、特産品となりうる農産物、農産品があるものの、十分に活かしきれていない側面がある。このため、豊富な観光資源を効果的に活用したプロモーションの推進及び有機的な地域連携が近年の多様なニーズに対応する鍵となっている。

さらに、人手不足への対応や効果的経営に向け、観光におけるデジタル化（ＤＸ化）の推進が求められている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） 〇石段街を中心とした風情ある街並み 〇歴史ある温泉地及び２種類の源泉 〇首都圏から近距離の立地 〇冬季の降雪量も少なく安定した天候 〇アート、歴史等多くの誘客コンテンツ 〇豊富な観光施設（観光牧場、遊園地、美術館、博物館、神社仏閣、観光果樹園など） 〇豊かな自然環境（紅葉、新緑、森林（自然）公園、ハイキングコースなど）	弱み（Weaknesses） 〇ＦＩＴニーズへの対応の遅れ 〇エリア内の回遊性不足 〇歴史文化の魅力発信不足 〇短期滞在が主流 〇インバウンド受入体制（ソフト、ハード両面）が脆弱 〇長期滞在の受入体制が脆弱 〇発信力が脆弱 〇ＤＸ対応の遅れ 〇体験型コンテンツが少ない 〇「食」の魅力不足 〇エリア内移動の二次交通が脆弱
外部環境	機会（Opportunity） 〇自然志向、癒し及び保養志向者の増加 〇温泉文化のユネスコ無形文化遺産への気運向上 〇高速交通網の充実（関越道、上信越道、北関東道、圏央道）による北関東方面、南関東方面からの流入増	脅威（Threat） 〇関東圏内に多くの競合する温泉地 〇旅行のＦＩＴ化が加速 〇1 人当たりの国内旅行回数、宿泊数の減少傾向化 〇首都圏からの観光客が多く、連泊、長期滞在化が進まない。

	○癒し、保養志向の高まり ○健康志向、歴史文化志向の高まり ○体験型観光の需要の高まり	○日本人の海外旅行の増加 ○観光従事者の高齢化と人手不足

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 情報発信力のある若年層及びファミリー層
○選定の理由 　行動力のある若年層の持つ発信力を活かし、情報発信によるファン層の獲得と新規顧客の誘客を期する。また、自然体験、農業体験などの体験を好む方々や、週末や短期間の休日に行動するファミリー層の取り込みを期す。 ○取組方針 　当地ならではの魅力を活かしたプロモーションを強化していく。また、新たな観光素材となる「食」の開発や、自然体験、農業体験などのコト消費の充実を図るとともに、地域間、広域圏、隣接エリアとの連携を更に強化していく。
○第２ターゲット層 滞在型志向の中高年層
○選定の理由 　コロナ渦を経て、団体１泊型の需要が減少する中、新たな顧客層として滞在連泊型（長期滞在含む）顧客の誘客を図り誘客向上を期す。当地おける来訪者うち 50 代から 70 代の割合が全体の約 64%（独自アンケート調査結果（R3～R4）による）を占めることから、更に中高年層の取り込みを期す。 ○取組方針 　上記の第１ターゲット層の取組方針に加え、歴史、文化、アートを活用した観光資源の開発による域内周遊の推進、宿泊施設と飲食店の連携強化、宿泊施設間での連泊プランの検討など滞在型に対応した受入環境整えていく。
○第３ターゲット層 東アジアを中心としたインバウンド層
○選定の理由 　独自で継続的に行っている宿泊者統計調査において、コロナ前における来訪者数の多い東アジア（特に、台湾、香港※独自で継続的に行っている宿泊者統計調査による）からの来訪の戻りを期すとと同時にその上積みを期す。また、新たに、他地域（欧米、豪州）の来訪も期したい。 ○取組方針 　上記の第１ターゲット層及び第２ターゲット層の取組方針に加え温泉文化の「ユネスコ無形文化財」へ向けた日本全体の動きのなかで、関係団体（地域）と連携し温泉文化の発信に協力していく。受入環境整備として、観光地におけるＤＸの推進を図り、観光ＭａａＳについても検討していく。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	温泉街の成り立ちから 400 余年の歴史を感じる伊香保温泉を核に　新たな魅力の再発見
②コンセプトの考え方	・万葉集にも詠われている歴史ある伊香保温泉を中心に、エリア内各所に観光牧場、神社仏閣、森林公園などの観光地（施設）が点在し、来訪者がゆっくりと楽しみ滞在する。 ・当地ならではの「食（水沢うどん（「日本３大うどん」と言われている）、「湯の花饅頭」（伊香保は温泉饅頭発祥の地））などを楽しみに来訪する観光客の増加

	・温泉旅館やグランピング施設、キャンプ場などの宿泊施設の垣根を超え滞在プランが可能 ・ＤＸ、観光ＭａａＳの導入を検討し二次交通や観光施設、飲食店の利便性が高まりを期待する。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	当協会並びに当協会が事務局を担う渋川北群馬ＤＭＯ協議会（平成 30 年設置）を核として、事業関係者との情報共有を行う。
	それぞれの理事会等を 4 半期ごとの開催を目途し、必要に応じ適宜意見交換等の場を設定する。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	観光客向けにクーポン付アンケートパンフを配布回収によるアンケート結果及び県域団体が実施する市場動向調査の結果を各施設・店舗にフィードバックし維持向上を促す。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	当協会が中心として、これまでのＰＲ活動に加え、ＳＮＳ活用によりターゲット層に訴求しうるプロモーションを実施するほかＶＲコンテンツを活用した情報発信、プロモーション等を模索中である。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	22,815	14,734	16,218	17,702	19,187	20,672
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	15,617	17,507	18,257			
		(―)					
●延べ宿泊者数（千人）	目標	1,550	740	810	880	970	1,060
		(3)	(5)	(8)	(10)	(12)	(15)
	実績	864	920	982			
		(4)	(13)	(14)			
●来訪者満足度（ポイント）	目標	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	4.0
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	3.8	3.8	3.9			
		(―)	(―)	(―)			
●リピーター率（%）	目標	70	71	71	71	71	71
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	71	70	70			
		(－)	(―)	(―)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

当該観光地域の観光振興は、渋川市と当協会が一体となり行っていることから、渋川市の策定する渋川市第２次観光基本計画に基づくとともに、当協会の取組みを勘案して目標数値を設定している。

しかしながら、未曽有のコロナ期により計画の実現性が破綻したことにより、計画の大幅な見直しを行い、第３次渋川市観光基本計画を策定した。よって、この第３次基本計画に基づき、併せて当協会の取組みを加味して目標値を設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

第３次渋川市観光基本計画に基づき再設定。

（R9 目標値 20,672 百万円としており R5 から平均的な増加を見込んでいる。

●延べ宿泊者数

渋川市観光基本計画に基づき設定。第３次基本計画により目標値を再設定。

（延べ宿泊者数は、伊香保温泉の宿泊者数としており、R9 目標値 106 万人となるべく R5 から平均的な増加を見込んでいる。）

●来訪者満足度

Google が提供する情報管理ツールである Google ビジネスプロフィールにより、口コミ評価を把握することで満足度を測る。今回から新たに設定する。域内の評価ポイントの平均値を指標として設定。（指標設定変更により R2 は数値なし。R2 は各種アンケートにより 78%であった。）

●リピーター率

独自で実施するアンケート付パンフレットの回収結果により設定。アンケート結果（2021 年４月～2023 年３月）において高い数値（70%）となっており、それを継続するよう 1%の伸び率を設定する。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●ＳＮＳのフォロー状況（人）	目標	―	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	12,625	13,072	16,356			
		(―)	(―)	(―)			
●宿泊施設の稼働率（%）	目標	50.0	56.0	56.5	57.0	57.5	58.0
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	55.6	58.3	61.8			
		(―)	(―)	(―)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
　伊香保温泉への潜在客の情報手段としてＳＮＳの活用が想定されるため、ＳＮＳのフォロー状況を設定。また、当該観光地の中核となる宿泊施設の稼働状況を設定する。

【設定にあたっての考え方】
●ＳＮＳフォロー状況
　発信する情報の到達性と当地域のファン層の拡大を図るため、ＳＮＳのフォロワー数を指標として設定。リアルタイムな情報発信はもとより、クオリティ向上を図る。
●宿泊施設の稼働率
当該地域における主要な観光業である宿泊施設の利用状況を把握するための指標として設定。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	96,761,362（円）	【県市町村からの補助金】 45,157,356（円） 【会費収入】 9,062,507（円） 【事業収入】 27,752,664（円） 【雑収益】 3,188,835（円） 【繰入額】 11,600,000（円）
2023（Ｒ５）年度	108,533,794（円）	【県市町村からの補助金】 59,598,080（円） 【会費収入】 9,414,387（円） 【事業収入】 28,717,897（円） 【雑収益】 803,430（円） 【繰入額】 10,000,000（円）
2024（Ｒ６）年度	117,936,456（円）	【県市町村からの補助金】 61,823,054（円） 【会費収入】 9,429,673（円） 【事業収入】 35,461,924（円） 【雑収益】 1,221,805（円） 【繰入額】 10,000,000（円）
2025（Ｒ７）年度	95,000,000（円）	【県市町村からの補助金】 45,000,000（円） 【会費収入】 9,000,000（円） 【事業収入】 28,000,000（円） 【雑収益】 3,000,000（円） 【繰入額】 10,000,000（円）
2026（Ｒ８）年度	95,000,000（円）	県市町村からの補助金】 45,000,000（円） 【会費収入】 9,000,000（円） 【事業収入】 28,000,000（円） 【雑収益】 3,000,000（円） 【繰入額】 10,000,000（円）
2027（Ｒ９）年度	95,000,000（円）	県市町村からの補助金】 45,000,000（円） 【会費収入】 9,000,000（円） 【事業収入】 28,000,000（円）

		【雑収益】	3,000,000（円）
		【繰入額】	10,000,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	104,303,005（円）	【一般管理費】	24,160,647（円）
		【特別会計管理費】	17,647,450（円）
		【イベント事業費】	15,050,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,230,000（円）
		【受入体制事業費】	237,006（円）
		【その他事業費】	17,377,902（円）
		【繰出額】	11,600,000（円）
2023（Ｒ５）年度	110,425,809（円）	【一般管理費】	21,198,824（円）
		【特別会計管理費】	17,779,047（円）
		【イベント事業費】	21,873,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,230,000（円）
		【受入体制事業費】	4,374,780（円）
		【その他事業費】	16,970,158（円）
		【繰出額】	10,000,000（円）
2024（Ｒ６）年度	117,263,018（円）	【一般管理費】	23,522,136（円）
		【特別会計管理費】	20,077,658（円）
		【イベント事業費】	26,800,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,230,000（円）
		【受入体制事業費】	435,754（円）
		【その他事業費】	18,197,470（円）
		【繰出額】	10,000,000（円）
2025（Ｒ７）年度	95,000,000（円）	【一般管理費】	24,000,000（円）
		【特別会計管理費】	17,000,000（円）
		【イベント事業費】	15,000,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,000,000（円）
		【受入体制事業費】	1,000,000（円）
		【その他事業費】	10,000,000（円）
		【繰出額】	10,000,000（円）
2026（Ｒ８）年度	95,000,000（円）	【一般管理費】	24,000,000（円）
		【特別会計管理費】	17,000,000（円）
		【イベント事業費】	15,000,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,000,000（円）
		【受入体制事業費】	1,000,000（円）
		【その他事業費】	10,000,000（円）
		【繰出額】	10,000,000（円）
2027（Ｒ９）年度	95,000,000（円）	【一般管理費】	24,000,000（円）
		【特別会計管理費】	17,000,000（円）
		【イベント事業費】	15,000,000（円）
		【観光宣伝事業費】	18,000,000（円）
		【受入体制事業費】	1,000,000（円）
		【その他事業費】	10,000,000（円）
		【繰出額】	10,000,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

〇当協会の果たすべき又は取り組むべき事業における公的補助金、交付金等の獲得を目指す。
〇独自の収益事業（特別会計）の充実による収益増を目指す。
〇イベント開催によるイベント収入の確保を図る。
〇会員数増を図り、会費収入の増加を目指す。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

渋川市・榛東村・吉岡町は、一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会を当該市町村における地域連携ＤＭＯとして登録されました。今後も該当市町村と一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会で緊密な連携を図り地域一丸となって観光地域づくりに取り組んでいく。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複しない。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	近藤　政道
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	377-0102
所在地	群馬県渋川市伊香保町伊香保 541-4
電話番号（直通）	0279-72-3151
ＦＡＸ番号	0279-72-4452
Ｅ－ｍａｉｌ	m-kondoh@dan.wind.nee.jp

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	渋川市
担当者氏名	高橋　巧
担当部署名（役職）	産業観光部観光課長
郵便番号	377-8501
所在地	群馬県渋川市石原 80
電話番号（直通）	0279-22-2873
ＦＡＸ番号	0279-22-2132

Ｅ－ｍａｉｌ	sangyou@vill.shinto.gunma.jp

都道府県･市町村名	榛東村
担当者氏名	産業振興課長
担当部署名（役職）	狩野　宏記
郵便番号	370-3593
所在地	群馬県北群馬郡榛東村新井 790-1
電話番号（直通）	0279-54-2211
ＦＡＸ番号	0279-54-8225
Ｅ－ｍａｉｌ	sangyou@vill.shinto.gunma.jp

都道府県･市町村名	吉岡町
担当者氏名	産業観光課長
担当部署名（役職）	渡部　英之
郵便番号	370-3608
所在地	群馬県北群馬郡吉岡町下野田 60
電話番号（直通）	0279-54-3111
ＦＡＸ番号	0279-54-8681
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@town.yoshioka.gunma.jp

（登録）【地域連携DMO】一般社団法人　渋川伊香保温泉観光協会

様式２

記入日：　令和7年11月28日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
群馬県渋川市・榛東村・吉岡町
【設立時期】 昭和30年2月4日
【設立経緯】 ③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】 （一社）渋川伊香保温泉観光協会　会長　関口征治
【マーケティング責任者（CMO）】
（一社）渋川伊香保温泉観光協会　常務理事　伊藤信明
【財務責任者（CFO）】 同上
【職員数】 10人【常勤10人（正職員6・嘱託員4人）】
【主な収入】
事業収入35百万円、補助金61百万円、会費9百万円（R6年度決算）
【総支出】
事業費63百万円、管理費43百万円、その他10百万円（R6年度決算）
【連携する主な事業者】
伊香保温泉旅館協同組合、しぶかわ商工会、渋川地区物産振興協会、渋川広域農業活性化推進協議会、（公財）群馬県観光物産国際協会、関越交通（株）　等

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

指標項目		2022（R４）年度	2023（R５）年度	2024（R６）年度	2025（R７）年度	2026（R８）年度	2027（R９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	22,815 (―)	14,734 (―)	16,218 (―)	17,702 (―)	19,187 (―)	20,672 (―)
	実績	15,617 (―)	17,507	18,257			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	1,550 (3)	740 (5)	810 (8)	880 (10)	970 (12)	1,060 (15)
	実績	864 (4)	920 (13)	982 (14)			
●来訪者満足度（ポイント）	目標	3.8 (―)	3.8 (―)	3.9 (―)	3.9 (―)	3.9 (―)	4.0 (―)
	実績	3.8 (―)	3.8 (―)	3.9 (―)			
●リピーター率（%）	目標	70 (―)	71 (―)	71 (―)	71 (―)	71 (―)	71 (―)
	実績	71 (―)	70 (―)	70 (―)			

戦略

【主なターゲット】
・情報発信力のある若年層及びファミリー層
・滞在型志向の中高年層
・東アジアを中心としたインバウンド層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
当地ならではの魅力を活かしたプロモーションを強化し、新たな観光素材の開発や、自然体験、農業体験などのコト消費の充実を図るとともに、地域間の連携を更に強化していく。
歴史、文化、アートを活用した観光資源の開発による域内周遊の推進、宿泊施設と飲食店の連携強化、宿泊施設間での連泊プランの検討など滞在型に対応した受入環境整えていく。
温泉文化の「ユネスコ無形文化財」へ向けた日本全体の動きのなかで、関係団体（地域）と連携し温泉文化の発信に協力していく。受入環境整備として、観光地におけるDXの推進を図り、観光MaaSについても検討していく。
【観光地域づくりのコンセプト】
温泉街の成り立ちから400余年の歴史を感じる伊香保温泉を核に新たな魅力の再発見

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・河鹿橋ライトアップ（新緑、紅葉）
・伊香保温泉石段街灯り演出
・伊香保温泉芸妓文化促進イベント
・周遊観光促進イベント
・伊香保ハワイアンフェスティバル
・伊香保まつり　等を企画実施。
【受入環境整備】
・手荷物配送サービス（手ぶら観光）
・レンタサイクル
・観光DXに向けた検討
・高速バス、直通バス運行支援　　等

【情報発信・プロモーション】
・アニメ活用によるプロモーション
・SNS活用による情報発信
・海外KOL招聘による情報発信
・大都市圏及び台北での観光イベント参加　　等